

# 「時代とともに求められる体制」と「市民の役割」

## 西口地区に新拠点

私が採用された昭和63年は、消防職員の定数が98人でしたが、現在は177人です。消防の拠点も、今では本署・北分署・南分署・今里出張所と拡充し、平成27年には消防指令センターもできました。今後はさらに、まちの発展などで救急需要の増加が見込まれることから、再来年には海老名駅西口地区に新たな消防の拠点となる西分署が開署します。

件だった出動件数は、平成30年には7294件と過去最多になりました。交通量の増加や人口の増加、高齢化などにより需要は増え続けています。市外から訪れた方の搬送も増え、119番通報は時代とともに変化しています。

## 落ち着いて 状況の説明を

緊迫した場面では、状況を正確に伝えることが難しいと思います。が、指令センター職員との質問にできる限り落ち着いて答えてください。屋外にいるなど正確な場所が伝えられないときは、電柱に付いている電柱番号を覚えてもらえれば、居場所も特定することができます。また、通話が終了した後も、指令センターが確認のため、再度電話をかけることがあります。電話の電源は切らずにお待ちください。



海老名市消防本部 大野公彦消防署長



## 救急車の利用は 適正に

近年、救急車の出動件数が増え続ける一方で、実は搬送した人の約半数は入院を必要としない軽症という現状もあります。中には「かさぶたを取ったら血が出たから」という人もいます。携帯電話やスマートフォンの普及で正確な情報を得やすくなった反面、安易な利用も増えていっていると感じています。救急車は限りある医療資源です。本当に必要な人が必要な時に利用できるよう適正利用にご協力をお願いします。



消防活動の中心拠点 消防署本署



## 身近にできる 火災予防を

火災件数減少の大きな要因となっている住宅用火災警報器の設置義務化から

身近にできる

助技術の共有化を図っています。



特殊災害対応訓練の様子



## 小規模飲食店の消火器設置を義務化

消防法が改正され、10月1日からコンロなど火を使用する飲食店は、建物面積にかかわらず消火器の設置が義務付けられます。

詳細は予防課(☎231・0968)へお問い合わせください。

## えびな消防トピックス

### 消防署西分署を整備中

海老名駅西口地区や駅間地区での大規模開発や年々増加する救急需要に対応するため、今泉小学校東側に新たな消防署を整備しています。開署は令和3年2月の予定です。



整備イメージ

訓練室やトレーニング室を備えた鉄筋コンクリート造り2階建ての建物

### 救急活動をアシストする ロボットスーツ「HAL」を導入



腰に装着することで隊員の動作をアシスト

「HAL」は、装着した人の動作をアシストする世界初のサイボーグ型ロボット。傷病者の搬送時における救急隊員の身体的負担を軽減するため、今年度4台導入しました。

聴覚・言語に 障がいがある方

図警防課 ☎(231)0921 ☎(234)7541  
障がい福祉課 ☎(235)4813 ☎(233)5731

### Net119のご利用を

Net119は聴覚や言語に障がいがあり、音声による119番通報が困難な方のための緊急通報システムです。事前に登録することで、スマートフォンなどの携帯端末を利用し、音声によらない通報を行うことができます。

利用希望の方は警防課または障がい福祉課へお問い合わせください。